

関連項目：教育活動プラン②

あいさつ・返事・言葉遣いの良習慣化で、 児童が安心して自分を表現できる環境づくりを行う

目的

本校の児童の大多数は、学校を「楽しい」と感じています。しかし、一部の児童は、学校での人間関係や学習などに不安をもっています。そこで児童が安心して自己表現し、よりよい人間関係を築いていけるように、あいさつや返事並びに言葉遣いの良習慣化に重点をおいた指導を行うことにしました。

内容

● **生活目標の工夫—あいさつ・返事・ことば遣いを重点目標として—**

- ア 全校朝会の集会時に、輪番制で担当学級があいさつ当番を行う。
- イ あいさつ調べを、年3回（5月・9月・12月）実施して、児童への意識づけと定着を図る。
- ウ 生活目標への取組状況を、すべての学級が全校朝会で発表する場を設定する。

月	生活目標（あいさつ）	月	生活目標（返事）	月	生活目標（ことば遣い）
4 5	元気よくあいさつをしよう	7	「はい」と明るく返事をしよう	6	正しいことば遣いをしよう
9 10	気持ちのよいあいさつをしよう	10	相手の目を見て聞き、「はい」の返事やうなずきを返そう	11 12	やさしい思いをことばに表そう
1	自分からすばらしいあいさつをしよう	2	相手の目を見て聞き、「はい」の返事やうなずきを返そう	3	お世話になった人へ、感謝の気持ちをことばで伝えよう

● **あいさつのスキルアップとA Y G活動**

- ア 全校集会で、あいさつ「あいうえお」の紹介
 「あ」・・・あかるく 「い」・・・いきいきと
 「う」・・・うれしそうに 「え」・・・えがおで
 「お」・・・おさきに
- イ 全校で、A Y G活動の推進
 「A：ありがとう」 「Y：やさしいね」
 「G：がんばったね」



自分や友達の「A Y G」を見つけて紹介する活動。互いに認め合うことば遣いができるようになってきた。

● **乾幸チェックカード（生活習慣チェックカード）の活用**

乾幸チェックカードの項目に、あいさつと返事を取り入れて、児童が自分の生活習慣について、振り返ることができるようにしている。また、振り返りの結果を健康委員会や生活委員会が中心となって全校朝会で発表したり、「保健だより」等で保護者に情報提供したりしている。

成果

児童アンケートの結果、「学校が楽しい」「友達と仲良くできる」と回答した児童は9割を超える。また、「授業で自分の考えが発表できる」と答えた児童が、昨年度より増えてきた。あいさつ・返事・ことば遣いに重点をおいた指導の成果が、少しではあるが表れている。